

鳩山幼稚園だより



ピジョっこ

地域とつながり 地域に愛される みんなだいすき はとやまようちえん 園長 岡部玲子 NO10 令和6年1月号

新しい年になりました。しかし、元旦早々、とんでもないことが起こりました。能登半島を震源とする大きな地震。翌日の関連事故ともいえる海保機と旅客機の事故。こんなことが起こることをだれが想像できたでしょう。想像の域を大きく超えていました。

もう回せている子もいました



1月9日 早速コマの練習

新年のあいさつや新しい年を迎えた抱負など、輝かしい言葉を言うのも憚られるように感じます。それでもやはり、否、それだからこそ未来を担う目の前の子供たちが、「昇り龍」の如く力強く成長していけるよう、職員一丸となってがんばっていかなければならないと強く思いました。

園児の皆さん、保護者の皆様、2024年もどうかよろしくお願いします。

改めて安心・安全、命の大切さについて考える



南天(難を転じて..)

2011年3月に発生した東日本大震災後、かつて私が勤務していた学校（多くの学校がしてきたと思いますが）では子供たちの命を守るための取組の見直しがなされてきました。自然災害についての取組としては、地震や火事を想定した避難訓練や、引き渡し訓練はもちろんですが、子供たちへ予告なしの避難訓練や教師の誘導なしの避難訓練など、自分の命は自分で守るための訓練を行ってきました。

鳩山幼稚園でもこれまで、避難訓練・交通安全教室など子供たち自身が『安心・安全』『命を守る』などの意識を高める取組をしてきました。幼児という発達年齢を考えると、義務教育以上で行っている訓練を、そのまま実施できるわけではありませんが、幼少の頃から安全に対する意識を積み上げていくことは大切なことだと考えています。3学期も避難訓練や防犯教室を実施予定です。

今まで天候によっては訓練を延期するなどの措置をとったこともあったかと思います。でも、雨が降っても地震は起こります。自然災害は暦も時間も天候も関係なくやってくると今回の震災でつくづく感じました。大きな災害あっても災害に対する意識は時間の経過とともに次第に形骸化してきます。今回の震災から、改めて訓練の取組を見直して、より子供たちの意識に残るような訓練を工夫していきたいと考えています。併せて大変な思いをしている方々に対して、思いを馳せることができるような『豊かな心』も子供たちの中に育てていきたいと思っています。



さくら組の壁面飾りリニューアルー



【1月9日 新規入園児説明会】

来年度の入園予定者は現時点で、3歳児クラス1名 4歳児クラス3名の計4名です。子供たち一人一人の育ちをきめ細かに援助していきます。

今、在園している子供たち、そしてこれから入園してくる子供たちが「生き生きとかがやいている子」となるよう、職員一同これからも全力で教育活動にあたっていきます。

***本幼稚園はいつでも入園・体験等受け入れていますので、保護者の皆さんのお知り合いの方などいましたら、ぜひ「鳩山幼稚園」を勧めてもらえると嬉しいです。**



園だより「ピジョっこ」冬休み号で保護者の皆様にお願ひした様々な事項について、出来る範囲で結構ですので、ご意見ご感想等お聞かせください。

***感想は食育・園内研修等の観点でも活用させていただきます。**

活動の流れ <1 月>

時 期	さくら 組	に じ 組
1 月上旬	始業式に参加する。	始業式に参加する。
1 月中旬	• まゆ玉団子のいわれを知り、まゆ玉だんごを作って飾る。 • お正月の遊びをする。カルタ・凧揚げ等 • 防火避難訓練に参加する。	• まゆ玉団子のいわれを知り、まゆ玉だんごを作って飾る。 • お正月の遊びをする。カルタ・凧揚げ等 • 防火避難訓練に参加する。
1 月下旬	• こま回し大会に参加する。 • 節分に向けて鬼のお面を製作する。 	• こま回し大会に参加する。 - 友だちと見せ合ったり、競争したりする。 - さくら組に年長組のこま回しを見せる。 • 節分に向けて鬼の被り物を製作する。 

<冬休みのピジョっこファーム通信>



今年は、寒冷紗のお家と藁のベッドを用意したお陰か、さくら組が植えたソラマメは順調に育っています。この後、大敵アブラムシが付かないように見張っていきたいと思います。

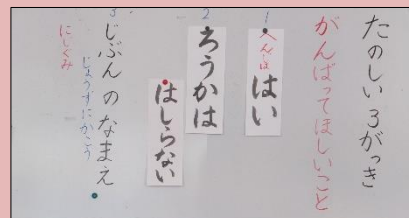


園庭のミカンが初めて 10 個以上実をつけました。ごつごつとした厚そうな皮で、小さな夏ミカンのようにです。見るからにすっぱそうですが、子供たちみんなで試食したいと思います。

*パンジーの鉢は 1 月 24 日(水)のこま回し大会の日に幼稚園に来る際、各保護者の方がお持ちください。

毎年のことですが、3 学期になると通常の楽しい活動と共に、『卒園』を意識した準備を並行して行っています。

<3 学期始業式のお話>・・・子供たちには毎年以下のようなお話をしています



***3 学期がんばること**

○にじ組は自分の名前が書けるよう練習します。

日常の取り組みの中で子供たちは自然に「文字」に興味・関心を持っているのを感じます。今年も 3 学期はにじ組が字形を意識して自分の名前が書けるよう練習をします。

○返事は「はい」を意識させていきたいと考えています。

一斉の活動の中では大きな声で「はい」の返事が出来ませんが、個々の場面ではやはり「うん」が多いです。大人に対しての「はい」の返事はなかなか難しいですが、少しずつ取り組んでいきたいと思っています。

○廊下は走らない。

これは小学校の『生活目標』の定番です。本園の子供たちからは、「ろうかははしらないんだよ!」と言っている声がよく聞こえます。でも、走っています。どうして廊下を走ってはいけないのか、始業式で聞いたら、みんな理由が分かっていました。でも、つい夢中になって走ってしまう子が多いです。これからも根気強く身に付けさせていきたいと思っています。

これらのことはすぐに身につくものではありません。ご家庭でのご理解・ご協力もよろしくお願いします。

卒園まであと 3 ヶ月、様々な製作や卒園式練習、行事等ある中ですが、小学校との接続を視野に入れつつ、幼稚園として子供たちが安心して小学校へ行けるよう、幼・小での連絡等も行っています。また、1 月末に面談もありますが、何か心配なことがありましたら、さくら組・にじ組問わず、幼稚園までご連絡ください。

県から出された「3 つのめばえ」を再度お家の方が目を通してもらえると良いかと思います。